



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟  
編集・発行人 小島 隆也  
東京都文京区後楽ビル6階  
〒112-0004 電話 03(3818)2906  
FAX 03(3818)2907  
毎月1回1日発行  
定価・年3,000円  
(会員は会費に含まれています。)

### 第47回JAS製材品普及 推進展示会 四社に農林水産 大臣賞

（一社）全国木材組合連合会、（一社）全国木材市場買方組合連盟及び（一社）全日本木材市場連盟は、第47回JAS製材品普及推進展示会の表彰式・記念講演会を令和2年2月3日（月）、ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で開催した。出席は、服部順昭審査委員長（日本木材加工技術協会会長）、鈴木和雄全木連会長、市川英治全市連副会長、早川金光全買連会長ほか主催三団体の役員、受賞関係者及び各木連など。

また、来賓として、農林水産省食料産業局西川真由基準認証室長、林野庁木材産業課の眞城英一課長等の行政の方々にご出席を頂いた。

全木連の鈴木会長は、主催三団体を代表し、本年度の展示会に、ご協力を頂いた関係者への謝辞、品質・強度の担保された、JAS製材品への期待がこれまで以上に高まっており、JAS製品の普及推進・供給体制を図っていききたい等挨拶した。

### 【審査結果の講評】

服部委員長より、次のとおり審査の報

告を頂いた。

「農林水産祭の林産部門として、昨年7月から11月まで5会場で全木連、全市連、全買連主催の第47回JAS製材品普及推進展示会における出品製品の審査を行った。主催3団体、各会場の審査委員とオブザーバ、含水率等の測定をしていただいたFAMICの皆様に厚く御礼。厳正な審査と総合調整ができた。今年度の出品数は49（昨年度61）で、前年度比12件減。出品量は前年度比49㎡少ない474㎡。出品数と量とも漸減する傾向も、1件当たりの出品量は昨年度より2・1㎡多い9・7㎡。今年度の出品は全て製材で、機械等級材は39%と昨年度比7ポイント少ない。これまで最大は昨年の46%で、平均的な出品状況に戻った。枠組材は出品がなかった。

・審査結果は、満点が6件（同5）と昨年度並みも、一昨年度比大幅減が危惧されない件数。私が担当し始めてから2番目に少ないのは昨年度同様、格付実績での減点が6割もあつたこと。格付実績と出荷実績で減点されなければ、満点が10件増えて、出品材の3割が満点、この点ではJASの品質管理がそれなりになされている。製材技術では鉋盤の刃先管理不足による

と思われるナイフマークの粗さで少し減点のものが2割。ここまでは例年通りの傾向、品等は格上げが一部あつたものの、格下げがそれなりにあつた。先程JASの品質管理が確りなされると申し上げたが、等級表示は、その通りになっていないものが散見。乾燥不足は昨年よりやや多い。5本とも乾燥の基準を満たして加点された製品は35件、乾燥が評価対象になっていない製品が6件あつてそれを除くと、8割強の製品の含水率管理が規格通りに行われていた。総合調整審査の結果、農林水産大臣賞4件、食糧産業局長賞12件、林野庁長官賞16件を決定し、推薦。天皇杯受賞実績のある機関は、申し合わせにより、大臣賞に推薦されな

いことになるが、今年度は該当製品が2件あり、局長賞に推薦。主催3団体の会長賞は13件を審査の申し合わせに従い選考。優良市場5件と優良買方5件についても申し合わせに従い感謝状を贈呈。受賞された機関の皆様には心からお祝い申し上げます。全体的な講評ですが、JASの基本的要求事項での減点が昨年度より目立ち、品質管理をさらに徹底して欲しい。悩ましいのは、実績が少ないことと格上げによる減点。購入者にとっては関係ない、あるいは喜ぶべきだが、審査では減点。等級格付については効率よく生産している中、その境界付近での格付判断は困難を極める。画像認識と含水率計測を合体させた格付の自動化が、安価なシステムで実現出来ればと思う。」

### 【表彰】

表彰の前に、長年、審査委員長をお務めいただいた、服部順昭審査委員長に、

鈴木全木連会長から、特別感謝状の授与が行われた。西川基準認証室長に農林水産大臣賞と食料産業局長賞の贈呈を、眞城課長に林野庁長官賞を贈呈していただいた。主催団体賞は、鈴木全木連会長が贈呈し、優良開催市場への感謝状は、市川全市連福会長が贈呈した。

### 【采實祝辞】

眞城木材産業課長から、「主催3団体並びに、JAS展開催5市場所在地の各木連・市場協会・買方組合、及び全国木材検査・研究協会等関係者の皆様には、JAS製品の供給と普及推進にご努力頂き、重ねて御礼。審査委員長を務めていただいた服部先生には熱心な審査と丁寧なご指導を賜り、深謝。JAS製品出品工場におかれては、日頃から適正なJAS格付を行っていただいております。本日栄えある賞を受賞されましたことに心からお慶び申し上げます。人工林の多くが本格的な利用期を迎えている中で、豊富な森林資源を「伐って、使って、植える」のサイクルで循環利用し、林業・木材産業の成長産業化を実現することが課題。木材利用については、これまであまり木材が使われていなかった非住宅分野や中高層建築物、とりわけ建築物が集中する都市部での利用などが課題で、木質耐火部材等の新技術・製品の開発・普及、CLT等の利用拡大、品質・性能の確かなJAS製品の普及、付加価値の高い林産物の輸出促進等を通じた木材需要の拡大とともに、効率的な木材加工流通施設の整備、サプライチェーンの構築推進等、木材の安定供給に向け取組を進める。JAS製材の利用拡大に向け、令和元年度補正

予算及び令和2年度当初予算案において、JAS構造材等を実証的に利用する場合に部材調達費の一部を支援することとしている。御参集の皆様におかれは、引き続き、品質・性能の確かなJAS製品の積極的な供給と普及推進に御尽力をお願いするとともに、JAS認証工場におかれては、JAS格付技能の研鑽、製材技術・製品品質の更なる向上に励んでいただきたい。」旨、御挨拶頂いた。

【農林水産大臣賞】

(株) 杏澤製材所 製材工場(秋田県)、(有) 倉地製材所 製材工場(岐阜県)、牧野木材工業(株) 本社工場(岡山県)、山下木材(株) 製材工場(岡山県)

【食料産業局長賞】

(株) 佐藤製材所 製材工場(宮城県)、桑原木材(株) 金山工場(岐阜県)、交告製材(株) 製材工場(岐阜県)、飛騨高山森林組合 新宮工場(岐阜県)、丸七ヒダ川ウッド製材工場(岐阜県)、オオコーチ勢和工場(三重県)、齋藤木材(有) 製材工場(三重県)、院庄林業(株) 久米工場(岡山県)、河井林産(株) 鏡野工場(岡山県)、鳥越工業(株) 製材工場(岡山県)、(株) 武内製材所 製材工場(大分県)、(株) 日田十条 製材工場(大分県)

【林野庁長官賞】

(有) 菊池製材所 製材工場(岩手県)、(有) マルヒ製材 製材工場(岩手県)、東北木材(株) 製材工場(秋田県)、協和木材(株) 埴工場(福島県)、中国木材(株) 鹿島工場(茨城県)、二宮木材(株) 本社工場(栃木県)、金子製材(株) 製材工場(埼玉県)、(株) 東海木材相互市場 大口工場(愛知県)、

東濃ひのき製品流通(協) 第二工場(岐阜県)、東白川製材(協) 製材工場(岐阜県)、小林製材(株) 本社工場(岡山県)、(株) 丸左木材 製材工場(岡山県)、大林産業(株) 製材工場(山口県)、八幡浜官材(協) 製材工場(愛媛県)、上球磨森林組合 加工工場(熊本県)、熊本モルター加工事業(協)(熊本県)

【優良市場】

丸宇木材市売(株) 北浜市場(埼玉県)、東京木材市場(株)(東京都)、(株) 東海木材相互市場 大口市場(愛知県)、(株) 津山総合木材市場(岡山県)、熊本木材株式会社八代支店(熊本県)

【全木連会長賞】

伊藤林産(有) 製材工場(岐阜県)、久万広域森林組合 久万事業所(愛媛県)、(株) 佐藤製材所 製材工場(熊本県)、(株) 松島木材センター 製材工場(熊本県)、(株) 佐藤林業 製材工場(熊本県)

【全市連会長賞】

ウッドリンク(株) 製材事業部 製材工場(富山県)、(有) 坂田製材所 製材工場(熊本県)、(株) ネット 本社工場(大分県)、吉田産業(株) 吉田製材工場(宮崎県)

【全買連会長賞】

江与味製材(株) 製材工場(岡山県)、阿蘇森林組合 蘇陽加工所(熊本県)、外山木材(株) 今町工場(宮崎県)、木脇産業(株) 加工センター(宮崎県)

【優良賣方】

旭木材工業(株)(茨城県)、(株) 角重(東京都)、金子建築工業(株)(岐阜県)、津山中央木材(株)(岡山県)、桑原商事(株)(熊本県)

【記念講演会】

続いて、服部順昭東京農工大学名誉教

授(日本木材加工技術協会会長)に『ライフサイクルアセスメントで見た環境に優しい木の世界』と題して御講演いただいた。概要以下のとおり。

I. 環境への優しさを示すには?

環境への優しさを定量評価(見える化)できる唯一のツールはLCA。

LCAとは、Life Cycle Assessment (ライフサイクルアセスメント)の略。

製品(主に最終製品)やサービスの資源調達から製造、使用、リサイクル、廃棄までのライフサイクル(Frontier to Grave)において、投入した資源量やエネルギー量、環境に与えた負荷量を求め、環境への影響を総合的に評価する手法。

積み上げ法(Process-based LCA)や計算、無理なら産業連関法(Economic Input-Output based LCA)やハイブリッド法。

II. 湯沸かしで学ぶLCA

1. 環境負荷量は? 資源やエネルギーの消費量×原単位=環境負荷量。  
2. 一つの数値(統合化)にまとめるということは?

LIME2と言う日本で構築の統合化係数により、単一指標が得られる↓トレードオフの関係が排除。

一般消費者に馴染み易い潜在被害額(円)で表示。

環境会計や環境効率率など、他の環境評価ツールへの応用性高い。  
この統合化係数(重み付け係数)は日本人の意識が反映↓普遍性が下がり、不確実性伴う。

統合化はISOやJISでは任意要

素。

III. 丸太調達までの温室効果ガス排出は?  
(背景) 木材は様々な用途で利用されているが、その原材料調達工程である丸太生産の日本の代表性のあるインベントリデータがない。

(目的) 国産主要樹種の育苗から丸太生産までの原単位構築  
(評価対象)

- 機能単位: 玉切り後の丸太1m<sup>3</sup>生産
- 樹種: スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ

「まとめ」

- 各都道府県の特徴を加味し、日本の代表樹種について丸太生産までのGHG排出量を算定。
- 同じ樹種でも都道府県の最小値と最大値では最大で約1.5倍の差。
- 日本の代表値算出には、各都道府県の特徴(生産システムなど)を加味した上で、日本全体を網羅した評価が必要。
- GHG排出量のより少ない生産を行うには、主伐時の効率化が特に重要。

IV. 耐火集成材造のビルの環境負荷は?  
中高層の木造化で、耐震性は構造計算で対応化、耐火性は耐火2時間や3時間の国土交通大臣認定が必要。

使える耐火集成材は? ①集成材被覆型(木質ハイブリッド) ②燃え止まり部挿入型(燃エンウッド(上)、FRウッド(下)、純木材) など ③石膏ボード被覆型(化粧板を貼ったものはクルウッド) 造のオフイスビルはエコ!

W造、S造及びRS造3構法のオフイスビル環境影響評価のまとめ



建築物モデルのLCAによる環境影響比較・耐火集材モデルが、S造の約7割、RC造の約5割と、最も環境に優しかった。

V. 木造戸建て住宅のLCAは？

- 我が国の新設戸建て住宅（平成29年）は、木造が約38万戸、鉄骨造が約4万戸、鉄筋コンクリート造が約3千戸。
- これらの環境負荷低減には、構法別の環境影響評価と戸数で9割を占める木造の環境影響評価が不可欠
- 同じ評価手法で3構法のLCAによる環境影響評価。環境影響の大きいプロセスの抽出と、その内容把握、戸建住宅の環境影響低減の提案

VI. 自動車部品などへのセルロースナノファイバーの利用とその環境優位性は？

CNFやCNF含有樹脂部品と該当従来部品の選定↓データベースに基づく単位の作成↓原材料の投入量（実測値）×原単位⇨単位質量当たりの環境負荷量↓部品代替による環境負荷量の比較開発したコンセプトカーの軽量化↓NCVの環境優位性評価実施中！

VII. JAS製材工場と製品に望むこと

- JAS製材等級付けの自動化（特に等級の境界領域）↓製材の高速欠点検出と格付け装置の開発↓低コスト装置の導入↓ラミナ用装置の技術移転が可能？
- JAS認定経費のコストダウン↓格付実績の増大↓登録認証機関と認証事業者にWin-Winの関係成立。
- 売上高を伸ばすより利益率の改善を！
- 地域事情に即したJAS製材の地域や企業のブランド化

- JAS製材とノンJAS製材の差別化↑性能の違い（品質の安定性とばらつき）の少なさ？の検証とアピール。
- 等大変に幅広い視点から、とかく難しくなりがち、ライフサイクルアセスメントから見た木材について、豊富なデータに豊富なご経験を織り交ぜ、素人にも判り易く御講演頂き、長年のJAS製品審査の経験からのJAS工場及び製品に対するアドバイスは貴重なもの。



「農林水産大臣賞表彰の様子」



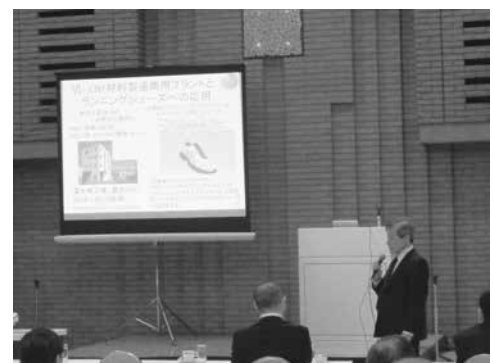
「服部審査委員長講演」

開会にあたり主催者を代表し、全市連の小合専務は、「国有林・県・町及び関係者の感謝と貴重な地域資源である天然木曾ヒノキ・**高**等国有林材、プレミアムカラマツを地元で優良な製品に加工し、付加価値を付けて出荷することは、地方創生に資すると共に、資源の最大価値を実現することであり、引き続き安定供給をお願いする」旨挨拶した。続いて、木曾官材市売協同組合野村理事長から前

■第23回全市連国産材需要拡大製材品特別展示会  
1月25日 木曾官材市売（協）

全市連、木曾木材工業協同組合及び木曾官材市売協同組合は、1月25日（土）、第23回全市連国産材需要拡大製材品特別展示会を開催した。来賓は、中部森林管理局の吉村 洋局長、大畑俊隆長野県議会議長、長野県木曾地域振興局春日真由美課長、小島和夫長野県木協連専務理事、大屋誠上松町長及び林茂木曾森林管理署長ほか。

日の審査結果について、「長官賞の天然木曾檜桤盤は、樹齢300年の歴史から作り上げられた、長尺、色合いのよさなどの商品価値等が高く評価された」等の講評を行った。



「講演会の様子」

来賓の吉村森林管理局长からは、「日頃の御礼と併せて、木曾ヒノキ及び信州プレミアムカラマツ等の優良材を引き続き計画的に安定供給に努めたい。A材等の需要拡大が重要で、国有林としてそのニーズに添えていきたい。今年の初市で、地元が自信を持って加工し、出品した製品ばかりなので、全品のお買い上げを願いたい」旨の御挨拶を頂いた。

入賞者は以下の通り。◇林野庁長官賞 天然木曾檜桤盤（株）野尻木材工業所 ◇長野県知事賞 **高**木曾ひのき厚板池田木材（株）◇中部森林管理局長賞 天然木曾檜板目一式（株）勝野木材◇全市連会長賞 天然木曾檜節板一式 志水林業製材◇長野県木協連理事長賞 **高**木曾ひのき桁一式 のむら木材（株）。

入賞者は以下の通り。◇林野庁長官賞 天然木曾檜桤盤（株）野尻木材工業所 ◇長野県知事賞 **高**木曾ひのき厚板池田木材（株）◇中部森林管理局長賞 天然木曾檜板目一式（株）勝野木材◇全市連会長賞 天然木曾檜節板一式 志水林業製材◇長野県木協連理事長賞 **高**木曾ひのき桁一式 のむら木材（株）。

入賞者は以下の通り。◇林野庁長官賞 天然木曾檜桤盤（株）野尻木材工業所 ◇長野県知事賞 **高**木曾ひのき厚板池田木材（株）◇中部森林管理局長賞 天然木曾檜板目一式（株）勝野木材◇全市連会長賞 天然木曾檜節板一式 志水林業製材◇長野県木協連理事長賞 **高**木曾ひのき桁一式 のむら木材（株）。

入賞者は以下の通り。◇林野庁長官賞 天然木曾檜桤盤（株）野尻木材工業所 ◇長野県知事賞 **高**木曾ひのき厚板池田木材（株）◇中部森林管理局長賞 天然木曾檜板目一式（株）勝野木材◇全市連会長賞 天然木曾檜節板一式 志水林業製材◇長野県木協連理事長賞 **高**木曾ひのき桁一式 のむら木材（株）。



「長官賞表彰の様子」

### 令和2年度国土交通省予算概要

国土交通省は、昨年暮れ、令和2年度

式典後の初市は、約1000人の買方様  
が参加、林野庁長官賞の天然木曽檜柁盤  
(4m×190mm×180mm)には24  
0万円/mの高値がついた。総売上額は、  
2、038万円、平均単価29万9千円と  
なった。



「初市の様子」



「長官賞受賞材」

### 第42回茨城県木材まつり 表彰式 1月15日 (株)茨城木 材相互市場で開催

(株)茨城木材相互市場(茨城県水戸市、  
打越芳男社長)の新春初市が1月15日

予算概要を公表した。「災害復旧・復興」「安全・安心確保」「生産性向上」及び「豊かで暮らしやすい地域づくり」の4本柱。頻発・激甚化する自然災害等に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」を集中的に実施する。東京オリ・パラ後の持続的成長を目指すとともに、消費税引き上げ後の需要変動対策も講じる。国費総額5兆9千3百11億円、臨時特別の措置を含め6兆7千3百63億円、財政投融资は、2兆4千5百55億円。本予算でも地震対策に加え、水害対策も盛り込み、防災意識社会への取り組みを重点化。「豊かで暮らしやすい地域づくり」ではコンパクト・プラス・ネットワーク(8百83億円)を推進。自然災害が頻発し、防災・減災の観点からもコンパクトシティの必要性が増し、ハードの整備とともに、都市計画による開発規制、移転促進、立地誘導などを効果的に組み合わせていく。住宅関係は、既存住宅・リフォーム市場の活性化に1百17億円、若年・子育て世帯や高齢者が安心して暮らせる住まい確保に1千1百1億円、省エネ住宅・建築物の普及に8百20億円、消費税対策費千46億円を計上。増税対策の、すまい給付金は、令和3年12月末までに入居すれば年収4百50万円以下で50万円を支給するというもの。

(金)に開催され、併せて、第42回茨城県木材まつり表彰式(茨城県木材協同組合連合会主催)が行われた。来賓として、茨城森林管理署岡井芳樹署長、茨城県木材協同組合連合会の野上満正理事長、県産材推進協議会鈴木樹一会長ほか来賓等多数が出席した。全市連からは小合専務が出席した。式典の開会に当たり打越芳男社長は、「米中経済摩擦、消費税引き上げ、台風被害の影響、被害復旧等に触れ、市場として対前年まあまあの売り上げ。当市場も創立65年を迎え、感謝の気持ちで一杯、百年を目指し進んでゆく。そのバックボーンとして県産材振興に努めてゆく。昨秋の県産材祭りの受賞者にお祝い申し上げる」等挨拶した。

来賓の岡井茨城森林管理署長の挨拶の及び茨城県木材協同組合連合会野上満正理事長等から祝辞が述べられた。昨年11月15日に行われた茨城県木材まつりの表彰状及び感謝状受賞者(製材品)は、次のとおり。

- ▽農林水産大臣賞(下地用)(株)美和
- 林産(常陸太田市)▽林野庁長官賞(構造用)(名)皆川材木店(常陸大宮市)
- ▽関東森林管理局長賞(構造用)(株)東山木材(笠間市)▽茨城県知事賞(下地用)田中木材店(高萩市)▽茨城県農林水産部長賞(下地用)(有)野上製材所(常陸大宮市)▽全木連会長賞(下地用)(有)銚田製材所(笠間市)▽全市連会長賞(下地用)(有)渡辺製材所(笠間市)

初市のセリには、多くの買方様に参加し、構造材から造作材まで活発に買われた。

### 雑記帳

植物としての「ウルシ」は東アジア固有の落葉高木で、幹からとれる漆液は古くから接着剤及び塗料等として利用。「漆」は漆液、あるいは、それを塗布するなどの製品を表す。漆器は、その質感及び独特の艶等の魅力により日本の伝統工芸品としても根強い人気がある。漆はJapanとも表記され、16世紀以降のヨーロッパでも王侯貴族の間で大変な人気があったという。日本及び中国の新石器時代の遺跡からは、漆塗土器、木胎、籃胎漆器、木弓、漆塗碗及び漆塗木筒等様々な漆製品が出土し、新石器時代における植物利用上、重要な植物の一つであると共に縄文文化を特徴づけるものの一つでもあるという。最近の日中の研究(国立歴史民俗博物館研究報告第187集)では、ウルシは、中国、韓国及び日本に分布するが、野生のものは中国のみということが明らかにされている。ウルシの遺伝的変異から日本のウルシが中国大陸から渡来したとすれば、DNA的には山東省がその由来地の可能性があるという。中国での最古の漆製品は約7、500年前、浙江省の新石器時代の遺跡から「木弓」が出土している。ところが、日本では函館市の遺跡から約9、000年前の朱漆製品が知られており、さらに福井県鳥浜貝塚遺跡から、縄文時代草創期(約12、600年前)にウルシがあったことが確認されている。元々の天然分布がどこで、いつ、どの地域で漆利用の技術と文化が生まれ、どのように広まったのか解明されおらず、今後の研究が待たれる。